

予算・決算特別委員会

日時：令和6年5月13日（月）

常任委員会終了後

場所：第2委員会室

1 予算・決算特別委員会の今後の方針について

2 その他

予算・決算特別委員会の今後の方針について

1 行政総務課からの報告

- (1) 重点事業評価シートは令和5年度決算審査（令和6年9月）を最後に取りやめとしたいと報告を受けた。※令和6年9月は令和5年9月と同様に成果に関する報告書と事業評価シートが提出される予定。

取りやめる理由：様々な計画で各課が独自の評価をしていることもあり、評価の整合性がとれていない。指標の乱立は避けたい。また、成果に関する報告書と事業評価シート双方の作成は職員の負担になる。議員側にとっても複数の評価物を見る手間が省けることになる。

- (2) 令和6年度決算審査（令和7年9月）では、成果に関する報告書に事業評価シートの内容を一部加え、令和7年度決算審査（令和8年9月）以降は、実施計画、予算と連携した成果に関する報告書を作成する予定である。

補足：どのような様式になるかは未定であり、現在検討中。

2 今後の方針について

- (1) 令和5年度決算審査（令和6年9月）は重点事業評価シートを用い審査を行い、令和7年度予算に向けた提言を行い、PDCAサイクルを回していく取組を行いたい。
- (2) 令和5年度決算審査（令和6年9月）では、各分科会で3～5つ程、事業を選定し人件費を含めたフルコストの事業費を当局に求め、審査を行いたい。
- (3) 成果に関する報告書への記載を要望したい事項を検討しながら審査を行っていただきたい。
- (4) 正副委員長及び各正副分科会長で検討部会（仮称）を定期的を開催し、成果に関する報告書に記載する事項についての各委員からの意見のとりまとめや委員会の方針や当局に向けた要望を検討していきたい。

案

令和6年6月3日

島田市議会議長 藤本 善男 様

予算・決算特別委員会
委員長 大村 泰史

予算・決算議案の審査に関する調査・研究について（最終報告）

本委員会は、調査した事件の経過、結果について、委員会条例第36条の規定により別紙のとおり報告します。

記

- 1 調査事件 令和4年度島田市一般会計決算、令和5年度島田市一般会計補正予算案、令和6年度島田市一般会計予算案の議案審査等
- 2 調査結果 別紙報告書のとおり

予算・決算議案の審査に関する調査・研究について
(予算・決算特別委員会最終報告書)

1 調査経過

【全委員による委員会】

- | | | |
|------|------------|--|
| 第1回 | 令和5年6月1日 | 委員長の互選 |
| 第2回 | 令和5年6月12日 | 副委員長の互選
分科会員の選任、正副分科会長の選任について |
| 第3回 | 令和5年6月16日 | 議案の分科会への審査委嘱 |
| 第4回 | 令和5年6月22日 | 付託議案の審査
報告第10号 令和5年度島田市一般会計補正予算(第2号)
議案第50号 令和5年度島田市一般会計補正予算(第4号)
議案第61号 令和5年度島田市一般会計補正予算(第5号) |
| 第5回 | 令和5年6月30日 | 重点事業評価シートの依頼・送付について
予算・決算特別委員会の審査について |
| 第6回 | 令和5年8月2日 | 重点事業評価シートについて |
| 第7回 | 令和5年9月13日 | 議案の分科会への審査委嘱 |
| 第8回 | 令和5年9月22日 | 付託議案の審査
議案第89号 令和5年度島田市一般会計補正予算(第7号)
議案第98号 令和5年度島田市一般会計補正予算(第8号)
認定第1号 令和4年度島田市一般会計決算の認定について |
| 第9回 | 令和5年12月7日 | 議案の分科会への審査委嘱
重点事業評価シートについて |
| 第10回 | 令和5年12月13日 | 付託議案の審査
議案第100号 令和5年度島田市一般会計補正予算(第9号)
議案第118号 令和5年度島田市一般会計補正予算(第10号)
議案第129号 令和5年度島田市一般会計補正予算(第11号) |
| 第11回 | 令和6年1月17日 | 重点事業評価シートに関するアンケートについて |
| 第12回 | 令和6年2月14日 | 議案の分科会への審査委嘱 |
| 第13回 | 令和6年2月20日 | 付託議案の審査 |

- 議案第1号 令和5年度島田市一般会計補正予算（第12号）
議案第8号 令和5年度島田市一般会計補正予算（第13号）
- 第14回 令和6年3月12日 議案の分科会への審査委嘱
重点事業評価シートに関するアンケートについて
- 第15回 令和6年3月21日 付託議案の審査
議案第9号 令和6年度島田市一般会計予算
議案第31号 令和6年度島田市一般会計補正予算（第1号）
- 第16回 令和6年5月13日 今後の方針及び最終報告について

【分科会】（総務生活分科会・厚生教育分科会・経済建設分科会）

- 第1回 令和5年6月19・20日 分科会に委嘱された議案の審査
第2回 令和5年9月14・15・16日 分科会に委嘱された議案の審査
第3回 令和5年12月8・11日 分科会に委嘱された議案の審査
第4回 令和6年2月15・16日 分科会に委嘱された議案の審査
第5回 令和6年3月13～15日 分科会に委嘱された議案の審査

2 調査の報告

当市議会は、令和4年度島田市一般会計決算及び令和5年度島田市一般会計補正予算案並びに令和6年度島田市一般会計予算案の議案審査等を行うため、令和5年6月1日に当委員会を設置した。当委員会はこれまで、全16回の委員会及び延べ15回の分科会を開催し、議案の審査等を行った。

以下、当委員会で審査した内容について報告する。

第1回<令和5年6月1日>

委員長の互選を行った後、副委員長、各分科会長の互選と選任の方法を確認した。

第2回<令和5年6月12日>

副委員長の互選を行った後、分科会員と各分科会長の選任を行った。

第3回<令和5年6月16日>

6月定例会において、当特別委員会に付託された議案の審査を行うに当たり、その所管する部分について、各分科会へ審査委嘱を行った。

第4回<令和5年6月22日>

6月定例会において、当委員会に付託された報告第10号、議案第50号及び議案第61号

について審査を行った。まず、各分科会長から、6月19日、20日に開催した分科会審査についての報告があった。報告の後、委員間で討議を行い、委員会としての採決を行い、報告事項は承認、議案については可決すべきものと決した。

また、6月30日に委員会を開催する旨を伝えた。

第5回<令和5年6月30日>

当局へ重点事業評価シートの提出を求めることについて委員全員の了承を得た。

また、重点事業評価シートを利用した審査方法についてのスケジュール等を確認した。進行方法については、事前に勉強会を開催する等、各分科会の判断に委ねる形をとり、提言については、行うことを強制するものではないことを確認した。

第6回<令和5年8月2日>

当局から提出された重点事業評価シートを委員へ配布した。重点事業評価シートに記載されていない事業について資料を求める場合は、個人で資料要求すること、重要案件とする事業の数に限りはないが、一般会計の中から抽出するよう伝えた。

第7回<令和5年9月13日>

9月定例会において、当特別委員会に付託された議案の審査を行うに当たり、その所管する部分について、各分科会へ審査委嘱を行った。

第8回<令和5年9月22日>

9月定例会において、当委員会に付託された議案第89号及び議案第98号、並びに認定第1号について審査を行った。まず、各分科会長から、9月14日から19日にかけて開催した分科会審査についての報告があった。報告の後、委員間で討議を行った。その後に委員会としての採決を行い、議案第89号及び議案第98号は可決すべきもの、認定第1号は認定すべきものと決した。

続いて、当局に対する提言の取りまとめを行い、厚生教育分科会は、学校施設の維持修繕及び安全安心な学校給食の提供について、総務生活分科会は、シティプロモーション推進事業及び移住定住促進事業について、それぞれ提言するとの報告が各分科会長からあり、経済建設分科会からは、今回の提言は一旦見送り、調査・研究を行ったうえで、特別会計も含め提言を提出したいと考えていると報告があった。なお、提言書の取りまとめについては、正・副委員長に一任することを確認した。

また、重点事業評価シートを活用した議案審査について全委員へアンケートの協力を求めた。

第9回<令和5年12月7日>

11月定例会において、当特別委員会に付託された議案の審査を行うに当たり、その所管する部分について、各分科会への審査委嘱を行った。

また、重点事業評価シートで挙がってきた意見のとりまとめや今後の進め方について委員間討論を行った。

第10回<令和5年12月13日>

11月定例会において、当委員会に付託された議案第100号、議案第118号及び議案第129号について審査を行い、各分科会長から、12月8日、11日に開催した分科会審査についての報告があった。委員間で討議を行った後、採決の結果、議案第100号、議案第118号及び議案第129号は原案のとおり可決すべきものと決した。

第11回<令和6年1月17日>

重点事業評価シートの使用に関する意見を全委員へ提供した。
また、意見を当局に提出し、当局としての今後の方針を伺いたい旨を説明した。

第12回<令和6年2月14日>

2月定例会において、当特別委員会に付託された議案の審査を行うに当たり、その所管する部分について、各分科会へ審査委嘱を行った。

第13回<令和6年2月20日>

2月定例会において、当委員会に付託された議案第1号及び議案第8号について各分科会長から、2月15日、16日に開催した分科会審査についての報告があった。報告の後、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決した。

また、令和6年度当初予算に関する審査について、提言を行った分科会においては、作成した提言について、どのような予算措置がされたかを念頭に置いて審査をするようお願いした。

第14回<令和6年3月12日>

2月定例会において、当特別委員会に付託された議案の審査を行うに当たり、その所管する部分について、各分科会へ審査委嘱を行った。

第15回<令和6年3月21日>

2月定例会において、当委員会に付託された議案第9号及び議案第31号について審査を行い、各分科会長から、3月13日から15日に開催した分科会審査についての報告があった。主にスイスブリエンツ町への学生使節団派遣や民間委託事業について委員間で討議を行った後、採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決した。

第16回<令和6年5月13日>

3 まとめ

予算・決算特別委員会では、付託された議案の審査を行うとともに、予算・決算議案の審査方法及びその後の活動に対する懸案事項について検討を行ってきた。

また、令和5年度からの試みとして、当局へ重点事業評価シートの提出を求め、決算審査を行う際に使用した。結果を総括するとともに、今後の予算・決算議案の審査方法について下記のとおり留意されたい。

記

(1) 重点事業評価シートを使用した予算・決算議案の審査方法について

決算に係る主要な施策の成果に関する報告書及び重点事業評価シートの双方を使用し決算審査を行った意見としては、事業の目的、対象及び課題などが一目瞭然でわかりやすい、実施結果の記述がわかりやすいといった意見がある一方で、事業ごとに指標の基準が曖昧であったとの意見の他に、現状の情報量では、決算に係る主要な施策の成果に関する報告書ありきの資料となってしまうとの意見も寄せられた。令和5年度決算審査(令和6年9月)においても令和4年度決算審査時(令和5年6月)同様、重点事業評価シートを要求する予定であることから、各分科会において重点事業評価シートに記載のある事業から数件選定し、人件費等を含めた総事業費(フルコスト)の資料を要求し、より深い審査を行っていただくよう留意願いたい。

(2) 予算・決算特別委員会からの次年度予算に向けた提言について

決算審査を行った際に、各分科会において重要であり、次年度以降の予算配分等に反映すべきと判断した事業においては、委員会全体として提言を提出し、PDCAサイクルを回す取組を行うことが望ましい。

(3) 決算に係る主要な施策の成果に関する報告書の改良について

令和6年度決算審査時(令和7年9月)に提出される決算に係る主要な施策の成果に関する報告書は、一部改良される予定であることから、委員会としても様式変更の要望を行いたいと考える。そのため、令和5年度決算審査(令和6年9月)をする際、記載が必要な事項や、表現方法の変更等、要望したい事項を検討しながら審査を行うようお願いしたい。

(4) 予算・決算審査に係る検討部会の設置について

各委員の意見の取りまとめとして、委員長、副委員、各分科会長及び各副分科会長からなる検討部会を設置し、検討部会内で検討後、委員への報告や当局への要望等を実施する体制を整えるようお願いしたい。

以上